

【第5回（仮称）「平戸観光交流センター（レストハウス）」整備活用検討委員会会議概要】

1. 日 時

平成 29 年 8 月 14 日（月） 午後 1 時 30 分～午後 2 時 30 分

2. 場 所

平戸市未来創造館 1 階ホール

3. 出席者

（1）委員

西岡 誠治（委員長）、山本 芳久、神田 全記、中田 洋、フロライク レムコー、木村 孝市、
木寺 敏夫、丹澤 明、小楠 一二三、小高 理恵 計 10 名

（2）行政（事務局）

文化観光商工部…松田部長 観光課…藤田課長、奥村主任主事

4. 議事内容

1. 開会

2. 議題

（1）中間報告書（案）の確認について

○委員長

- ・今年 2 月に発足した本委員会だが、皆様方の熱心なご議論により、一定の方向性はまとめられる状況に至ったのではないかと思います。今回は中間報告案のとりまとめについて、皆様にご議論を頂きたい。
- ・この会議後、市長へ中間報告書の提出を控えているので、円滑な進捗と関連なご議論のご協力をお願いしたい。

□事務局

- ・会議資料①「（仮称）「平戸観光交流センター（レストハウス）」整備活用検討結果について 中間報告（案）」について説明。

○委員長

- ・順を追って確認する。まず p 1 「はじめに」についてご質問、ご意見あるか。

（意見なし）

- ・ p 2、3 はよろしいか。この部分は事実関係だけになる。

・続いて、p 4、5 の「施設整備の必要性について」何かお気づきの点はあるか。

(意見なし)

・続いて、p 6、7 の「整備すべき機能について」いかがか。

(意見なし・頷く委員あり)

・それでは p 8 「平戸観光協会について」いかがか。

(「はい」という声あり)

・では、続いて p 9 「機能整備の方向性について」この点はいかがか。

(意見なし)

・では最後、p 10、11 の観光協会存続、移転のパターンに加え、新築、改修も掲示されているが、何かご意見はあるか。

(意見なし)

・よろしいか。

(「はい」という声あり)

・特にご意見なしのようだが、原案どおりで確定し、3時半からの市長への中間報告に臨ませていただくということでよいか。

○委員

- ・ p 11 「新規駐車場の整備」について、この件は前回会議で整備場所もなく、屋根をつけたような駐車場もつくる必要はあまりないという結論ではなかったか。
- ・最終的には、今ある文化センター駐車場と併せて検討するという事でなかったか。

□事務局

- ・前回会議で最終的には、新規駐車場を必ずつくるという話にはなっていなかった。あくまで新規駐車場整備が案として出された為、今回の報告書では、文化センター共用と新規整備の2パターンを意見集約というかたちで記載している。

○委員

- ・ 駐車場整備は私が提案した。これについて別委員からも積み上げ方式にすれば、土地が 200%使えるという同意見があり、結論は出ず、提案という格好になった。
- ・ 逆に文化センター駐車場の利用は、文化センターに催しがあった際に、多くの方が来て車が置けず、未来創造館前駐車場も使っている状況もあり、このように検討すると言った。

□事務局

- ・ 前回会議では、駐車場の件について結論は出ていなかったということで皆さん認識されている。その中で、立体やあるいは周辺に新たな駐車場を設けた方が良いということでご意見が出されたと理解している。
- ・ 機能をどうするかということ、駐車場の位置関係というのは、相当、利用者像によって変わってくる。まず、もう少し機能を詰めていき、それによって誘発される新規利用者像がどういう方が想定できるのか、それによって駐車場の対応を絞り込んでいくのが、より合理的ではないかということが会議録より認識される。
- ・ つまり、この駐車場の問題が、しっかり検討委員会の中でも議論され、中間報告の中ではこういった駐車ニーズのカバー策について提案要望があったということでご理解頂きたい。

○委員

- ・ そういった事務局説明であれば結構。私もそのように考えている。

○委員

- ・ p 10 のパターンについて私の理解の仕方でお尋ね。パターン B-①、B-②は予算的なものというとか。有人のカフェ等もあるが、同じスペースを使って新築したうえで、コストの部分において有人と自動販売機では有人が経費が掛かるかと思うが、そのスペースの使い方にも、全く様々な大きさなどもあるのでは。
- ・ 今まで議論してきたが、やはり人と人の温もりと言うか、観光面も併せてそうだが、自動販売機などはどうなのかと個人的には思う。

□事務局

- ・ p 11 に “ 「機能の整備パターン」 及び 「駐車ニーズのカバー策」 について、市及び市議会による実現可能な選択肢の選定が図られた後に、施設敷地に合わせた機能配置スペースとコストなどを踏まえ、それらの選択肢の具体的な整備内容について引き続き検討していくこととする。 ” という結びで提案されている。
- ・ したがって、このようにコスト、機能的なスペース、それら双方を勘案しながら集約、取り組みを図るもので、現時点ではそこは絞込めなかった。そこで、皆様から得た数通りのパターンに対し議会のご意見を頂き、必要によっては図柄、コスト等の必要な資料を皆様方に示しながら整備策を確定していくという過程がこの後に含んでいることをご理解頂きたい。

○委員

- ・この資料が1日前にでも手元にあったら、よく確認して、“この点はこう変えたらどうか”、“こんなことも言えたのでないか”というものもあったのではないか。
- ・中間報告は非常によくまとめられているが、委員の意見が、より効果的に反映されるためにも、できれば1日前に配布されていればというお願い。

○委員長

- ・事務局は以降の参考にするように。

○委員

- ・p10「機能の整備策パターン」の新築、改築の場合で、「新築の場合」が先に来るのが気になる。改修の方が先にくるべきでないのか。逆の順番が自然に感じる。
- ・パターンイメージについて具体的に“約300人規模”や“自動販売機”といったことが書いてあるが、そこまで具体的に書く必要はあるのか。
- ・また、p11に「駐車ニーズのカバー策」が書いてあるが、これが今度の大きな議論点でありp9に入れなくてよいのか。

□事務局

- ・まず、p10パターン表の「新築」と「改修」を上下逆にした方が良いとのご意見だが、他の委員の了解が得られるのであれば、上に「改修」、下に「新築」と入れ替えたい。
- ・続いて、イメージについてここまで書き込む必要があるのかという点だが、「イメージ」と書いてある以上はイメージしやすいようにできる限り記載している。
- ・3点目の、p11に駐車ニーズのカバー策を記すのではなくて、p9が良いのではということだが、中間報告（案）を作成するにあたり、p10整備パターンの前段に訴えたい部分としてp9に建物の整備に関する課題を載せており、駐車場の件をp9に書いてしまうと、p10機能の整備パターンに駐車場の事も加味しなくてはいけないため、一旦、“p9とp10がセット”、そして“p11が補足で駐車場の件を載せた”ということでご理解頂きたい。

○委員長

- ・300人という数字の根拠は何か。

□事務局

- ・以前の北部公民館ホールの収容人数。

○委員

- ・p10の新築と改修の順番を入れ替えればそれで良い。他は説明でよくわかった。

○委員長

- ・委員の言うとおり、改修を上にしておくことが自然ということで、それに対し事務局も直しても良いということだが他の委員はどうか。

○委員

- ・私の判断レベルになるが、既存建物を見たとき、改修工事でどれだけ長寿命化工事ができるか不安を感じる中で、今出されている機能で考えた時に、改修も新築もさほど金額の面では変わらないかを見ている。これは市長報告の中でもそういった考え方をもって臨んで頂きたいと思う。

○委員長

- ・まだ金額等は詰めていないが、新築、改修であまりコストは変わらないのではないかと。それらを踏まえて、望ましい方向性を詰めて頂きたいということか。新築と改修の上下順番はどちらでも良いか。

○委員

- ・はい。

○委員

- ・この中間報告（案）で十分よくまとめられているため、このままで良い。

○委員

- ・再三言ってきたが、施設を改修する際、思いもかけないところから腐食が出たり等多々ありうるため、新築した方が良い。この新築、改修の順番で結構。

○委員

- ・新築、改修どちらが先、後というのはこだわっていない。この報告にも施設の老朽化、バリアフリー化といった文言は出てきており、どちらでも構わない。

○委員

- ・どちらでも良い。あくまで報告書のつくりの話として申しただけで、皆でこの順番でよければ。
- ・流れ的にはビフォーアフターの件もあったため、改修の方が上にくるのがプロジェクトとしてはより自然的な出し方かと思ったが、このままでも良い。

○委員

- ・前回コンビニ案が出たが、コンビニの方にあたってこれが現実的かどうか確認されたか。

□事務局

- ・現段階では事業者へあたっていない。この中間報告を受け、調整等させて頂く。そのためにも今回のパターンに記載している。

○委員長

- ・特に他に無ければ、原案どおりということで。色々ご意見は出たが、今後、市が議会へお諮りする作業があるが、その際の参考にして頂く。

(2) 今後のスケジュール（予定）について

□事務局

- ・会議資料②「今後の検討スケジュール（予定）」について説明。

○委員長

- ・あくまで事務局側の想定範囲でのスケジュールということだが、何かわからなかった点等あるか。

○委員

- ・この中間報告書提出後、議会で話が進められ、11月の検討委員会の時にはほぼ、選択肢が決まってくるということか。

□事務局

- ・観光協会の取扱いについて市が協会と調整し、11月頃予定している会議の資料では、結論はきちんと出したいと思う。
- ・また、その前段にある産業建設委員会所管事務調査や市議会9月定例会における議員の意見、指摘を踏まえた案を皆様に資料にてご確認頂く。

○委員

- ・コンビニが入るならば、個人的にはこの検討委員会にはいなくても良いかと思っているぐらい反対。もう少し早くこの資料が届いていたら、本当にその内容をここに入れるべきか否かの議論ができた。
- ・これから多くの事を事務局は色々調べなければならない。事務局も大変かと思う。

○委員長

- ・行政の重要な事業の進め方として、この場で各界各層の方に来て頂き、様々な意見を取りまとめ、結果的にそれを踏まえて市長部局が原案をつくる。それを議会にお諮りし、様々な意見を伺って方向性が決まる。検討委員会で決まるということではない。結果、色々な意見が出たという資料にならざるを得ない。先ほど別委員からも、資料を全員に1日早く配られたいといった意見もあり、事務局は今後の事務運営に考慮頂きたい。
- ・それではこの後、委員会を代表して市長へ中間報告をさせて頂く。おかげさまで無事、中間報告をまとめることができた。以上をもって第5回会議を閉会する。

3. 閉会